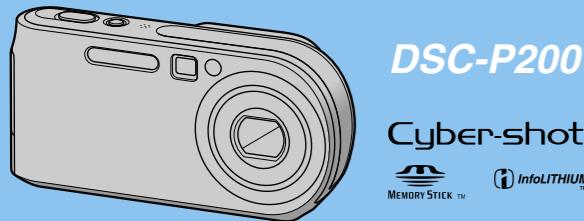


サイバーショット取扱説明書

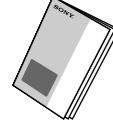
はじめにお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

本書と別冊の「安全のために」「サイバーショット取扱説明書 活用編・困ったときは」をよくお読みのうえ製品をお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



あわせてご覧ください。



取扱説明書「活用編・困ったときは」(別冊)

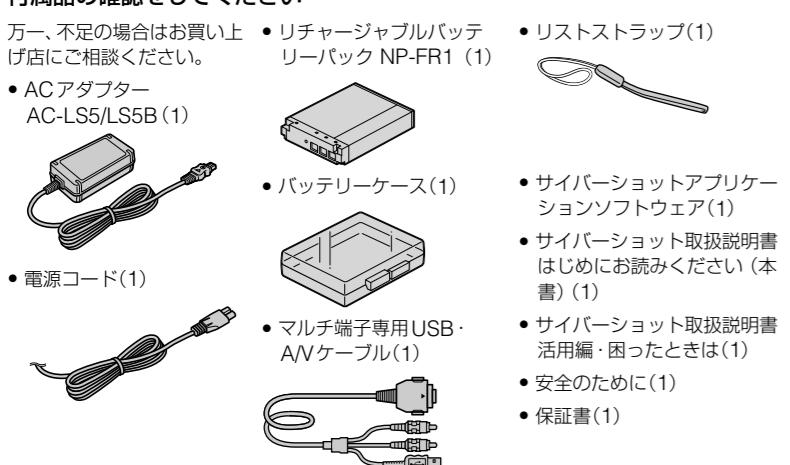
進んだ活用法と、困ったときの解決方法などを説明します。

サイバーショットの最新サポート情報(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など)はこちらのホームページから。
<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/>

© 2005 Sony Corporation Printed in Japan

この説明書は100%古紙再生紙と
VOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物
油型インキを使用しています。

付属品の確認をください



ご使用前に行ってください

- はじめてお使いになるときは、付属のバッテリーNP-FR1を充電してください。
- 本機は精密機器です。レンズや液晶画面をぶつけたり、無理な力をかけないでください。また、落下防止のため、リストストラップを取り付けてご使用ください。



■ サイバーショットオフィシャルWEBサイト

<http://www.sony.co.jp/cyber-shot/>

■ 使用上での不明な点や技術的なご質問

テクニカルインフォメーションセンター

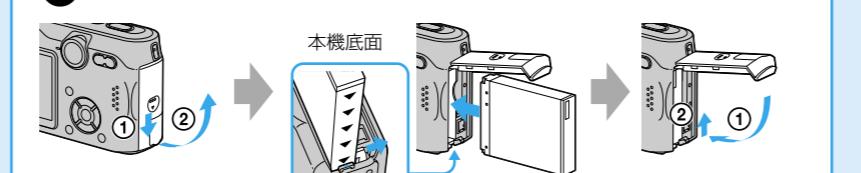
電話: 0564-62-4979 (おかげ間違いでご注意ください。)

受付時間: 月~金曜日 午前9時~午後5時(年末/年始/祝日を除く)

1 バッテリーを充電する

必ず本機の電源を切った状態で充電してください。

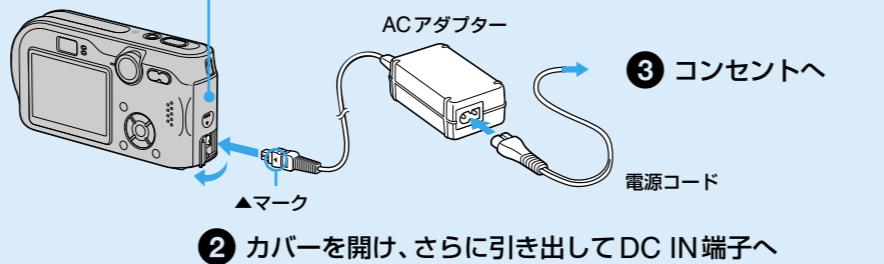
① バッテリーを入れる。



下にスライドして開ける。

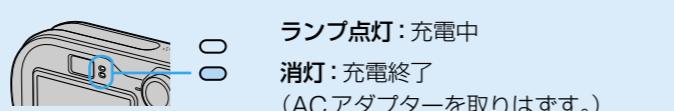
バッテリーを正しい向きにして入れる
底面の▲マークを合わせる。

閉じる。



② カバーを開け、さらに引き出してDC IN端子へ

充電表示



ランプ点灯: 充電中

消灯: 充電終了

(ACアダプターを取りはずす。)

- 付属のバッテリーを使い切ってから、満充電まで温度25°Cで約200分です。使用状況や環境によっては、長くかかります。
- フラッシュの充電中もランプが点灯します。

2 電源を入れ、時計を合わせる

① モードダイヤルを「」にする。

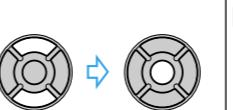


② POWERボタンを押す。

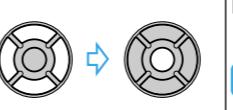


③ コントロールボタンで、時計を合わせる。

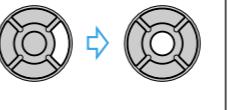
1 ▲/▼で日付表示順を選び、●で決定する。



2 ▶/◀で設定する項目を選び、▲/▼で数値を設定して●で決定する。

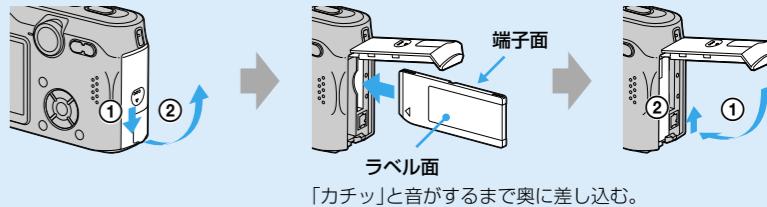


3 ▶で[実行]を選び、●で決定する。



・時計合わせを中止するには、[キャンセル]を選んで、●を押す。

3 “メモリースティック”(別売り)を入れる

端子面
ラベル面
「カチッ」と音がするまで奥に差し込む。

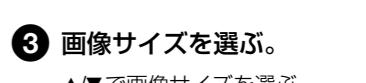
4 用途に合わせて画像サイズを決める

① モードを選ぶ。
静止画のとき

動画のとき



② (画像サイズ)ボタンを押す。



- 静止画のときの画面です。動画のときは [640 (ファイン)] ([メモリースティック PRO] のみ)、[640 (スタンダード)]、[160] から選びます。
- 4 (画像サイズ)ボタンを押して、設定を終了する。

静止画の画像サイズについて

「画像サイズ」について詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」11ページ

画像サイズ	用途の例	撮影可能枚数	プリント時
7M (3072 × 2304)	A3サイズプリントやA4サイズ高精細プリントする場合	少ない	精細
3:2 (3072 × 2048)*	A4サイズプリントやA5サイズ高精細プリントする場合	中	中
5M (2592 × 1944)	写真のL判でプリントする場合	多	粗
3M (2048 × 1536)	より多くの画像を撮影する場合	多く	粗
1M (1280 × 960)	Eメールへの画像添付やホームページ作成用の場合	多く	粗
VGA (Eメール) (640 × 480)	写真の印画紙、ポストカードなどと同じく3:2の横縦比で撮影します。	多く	粗

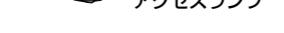
* 写真の印画紙、ポストカードなどと同じく3:2の横縦比で撮影します。

静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間

画像サイズを変えると静止画の撮影可能枚数と動画の記録可能時間が変わります。
詳しくは→別冊「活用編・困ったときは」19ページ

“メモリースティック”を取り出すときは

- カバーを開け、“メモリースティック”を1回押す。
- アクセランプ点灯中は、絶対に“メモリースティック”を取り出したり電源を切らないでください。データが壊れることがあります。



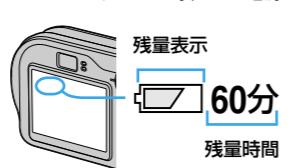
コンセントの電源で本機を使うときは

上図のように本機をコンセントにつないだまま使う。

- ACアダプターはお手近なコンセントにつないでください。不具合が生じたときは、すぐにコンセントからプラグを抜いてください。
- 使い終わったら、ACアダプターを本機とコンセントから取りはずしてください。
- 電源を切ってもコンセントにつないである限りAC電源は遮断されません。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。

バッテリーの残量を確認するときは

POWERボタンを押して電源を入れ、液晶画面で確認する。

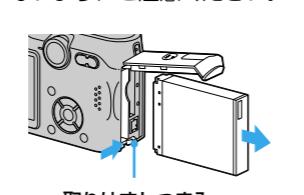


・正しい残量時間を表示するのに約1分かかります。

・使用状況や環境によっては、正しく表示されません。

バッテリーを取り出すときは

カバーを開け、バッテリー取りはずしつまみを矢印の方向に押す。バッテリーが落しないようにご注意ください。



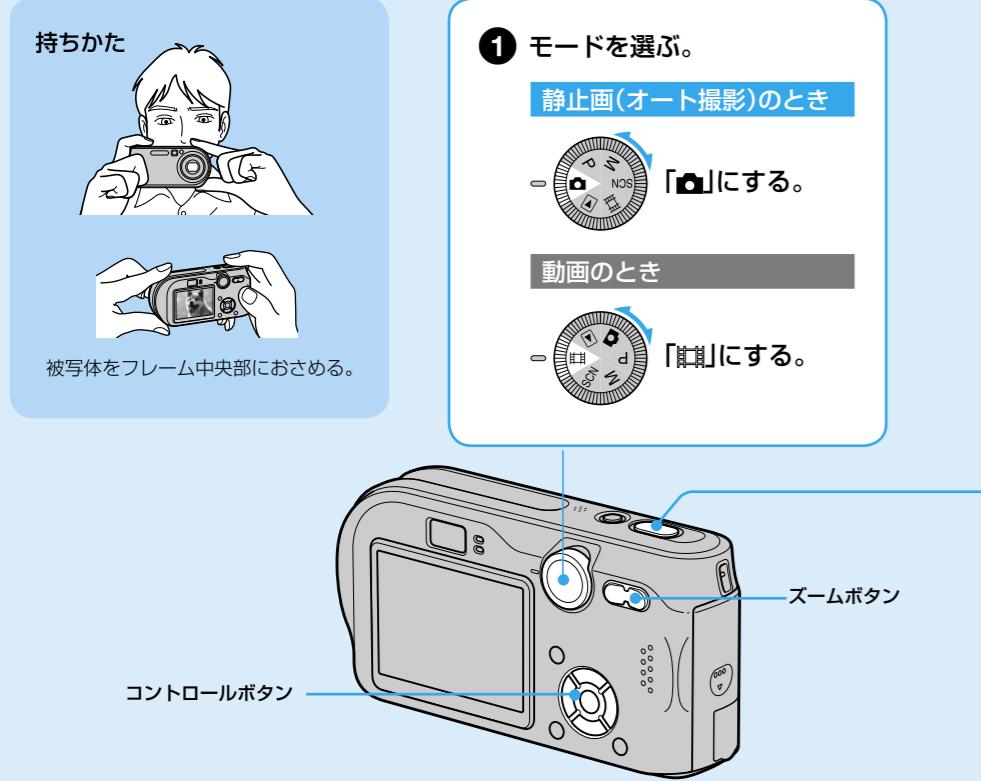
海外で使うときは

付属のACアダプターAC-LS5/AC-LS5Bは全世界(AC100V~240V・50/60Hz)で使えます。ただし、地域によっては壁のコンセントに差し込むための変換プラグアダプターが必要になる場合があります。

コンセントの形状例	[a]	[b]
主に北米		
主にヨーロッパなど		

- 変換プラグアダプター[a]/電源コンセント[b]の形状は国や地域によって異なります。あらかじめ旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。
- 電子式変圧器(トラベルコンバーター)は故障の原因となるので使わないでください。

5 簡単に撮る(オート撮影)



コントロールボタンの機能を使うには



ズームするには



最後に撮った静止画を見る (クリックレビュー)

コントロールボタンの▲(◎)を押す。やめるには、もう一度▲を押す。



- 表示直後は画像が粗いことがあります。
- 画像を削除するには、■/▲(削除)ボタンを押し、コントロールボタンの▲で[削除]を選び、●を押します。

静止画のフラッシュモードを選ぶ

手順②の前に、コントロールボタンの▲(◎)を押す。押すごとに、設定が変わります。

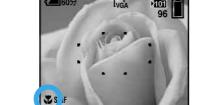


- 表示なし
- 光量不足/逆光と判断したとき発光(お買い上げ時の設定)
- 強制発光
- スローシンクロ(強制発光)
- 暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影。
- 発光禁止

- フラッシュ推奨距離([ISO]が[オート]の時)
W側: 約0.2 ~ 3.5m
T側: 約0.3 ~ 2.5m
- フラッシュは2回発光し、1回目で発光量を調整します。

被写体に近接して撮る (マクロ撮影)

手順②の前に、コントロールボタンの▶(◎)を押す。やめるには、もう一度▶を押す。



- ズームをW側いっぱいにしてから撮ることをおすめします。
- ピント合わせの範囲が狭くなるため被写体全体にピントが合わないことがあります。
- 通常よりもピント合わせが遅くなります。

画面の表示については

静止画のピントがうまく合わないときは

- 被写体まで、約50cm以上の距離が取れないときは、「マクロ撮影」(左記)する。
- 自動でピントを合わせられない場合は、AE/AFロック表示の点滅が遅い点滅に変わり、「ビビッ」と音がしません。構図を変えるなどしてください。

ピントが合いくらいの被写体:

- 被写体が遠くで暗い
- 被写体と背景のコントラストが弱い
- ガラス越しの被写体
- 高速で移動する被写体
- 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
- 点滅する被写体
- 逆光になっている被写体

液晶画面を消すには

- (画面表示/液晶画面オン/オフ)ボタンを繰り返し押す。バッテリーの消耗を抑えたり、液晶画面で画像を確認しづらいときはファインダーを使ってください。

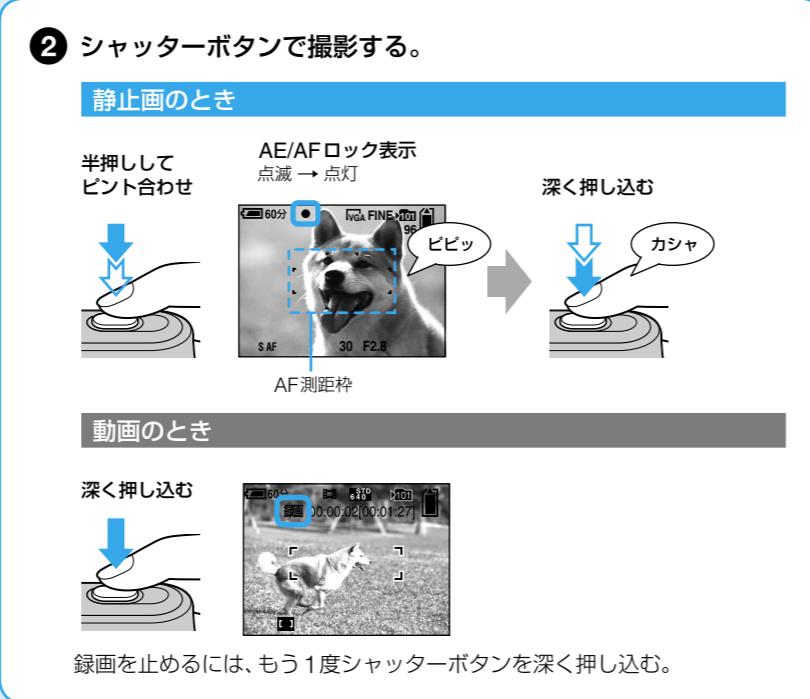


手順②の前に、コントロールボタンの▼(◎)を押す。シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ビビッ」と操作音が鳴り、約10秒後に撮影される。

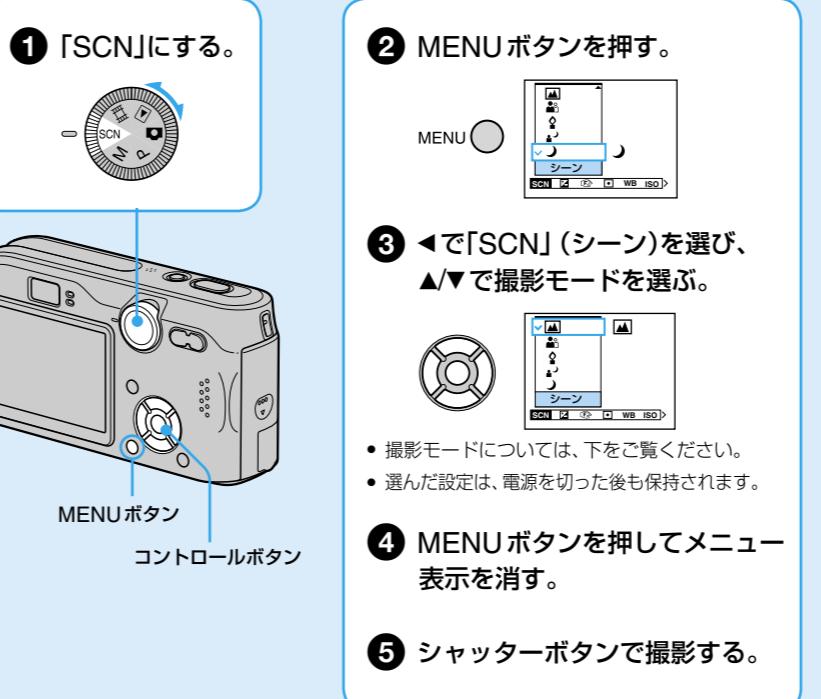


- セルフタイマー(強制発光)
- 暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影。
- 発光禁止

セルフタイマーランプ



場面に合わせて静止画を撮る(シーンセレクション)



シーンセレクションを解除するには

モードダイヤルを「SCN」以外に合わせる。

シーンセレクションの撮影モード

あらかじめ、撮影状況に合わせた下記の設定が用意されています。

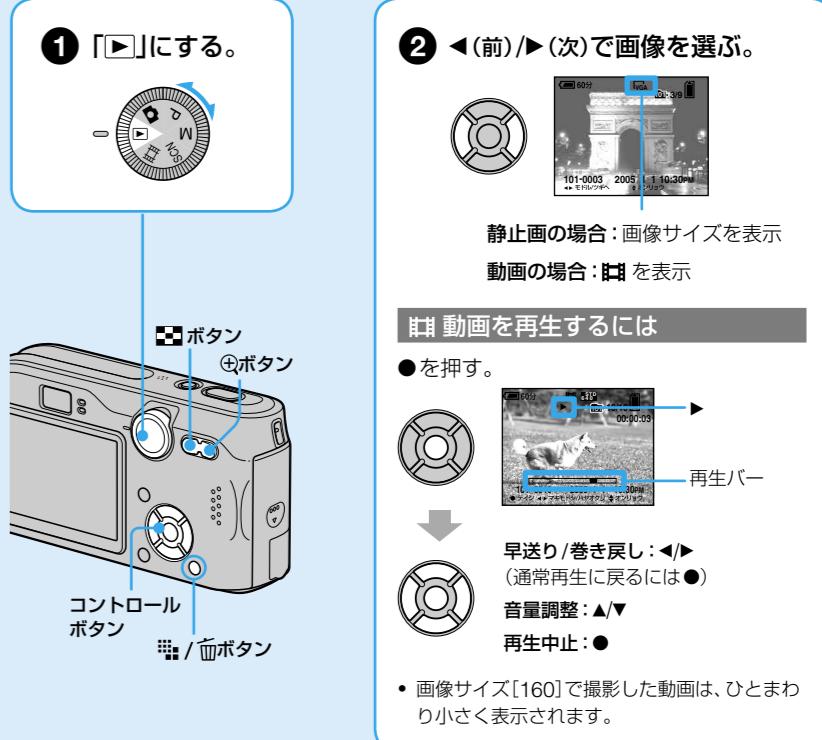


* シャッタースピードが遅くなるので、三脚のご使用をおすすめします。

コントロールボタンを使った機能をシーンセレクションと同時に使うには

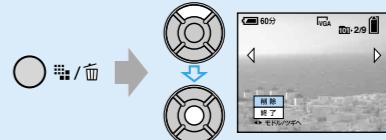
手順⑤で撮影する前に設定してください。モードによっては使えない機能があります。使えない機能のボタンを押すと、ビビビと音が鳴ります→別冊「活用編・困ったときは」25ページ。

6 画像を見る/削除する



画像を削除するには

- 削除したい画像を表示して■/▲(削除)ボタンを押す。
- ▲で[削除]を選び、●を押す。



削除を中止するには

[終了]を選び、●を押す。

拡大して見るときは(拡大再生)

静止画を再生中に□ボタンを押すと、ズームできる。□で戻る。

ズーム位置変更: ▲/▼/◀/▶

ズーム中止: ●

一覧(インデックス)表示で見るときは

□(インデックス)ボタンを押し、▲/▼/◀/▶で画像を選択。●を押すと、シングル画面に戻る。◀▶を押し続けると、次の画面に移る。



一覧(インデックス)表示で画像を削除するときは

- 一覧表示中に■/▲(削除)ボタンを押し、コントロールボタンの▲/▼で[選択]を選び、●を押す。
- 削除したい画像を▲/▼/◀/▶で選び、●を押して▲(削除)マークを付ける。



削除を中止するには

取り消したい画像を選んで●を押し、▲マークを消す。

- /▲(削除)ボタンを押す。

- ▶で[実行]を選び、●を押す。

- フォルダ内のすべての画像を削除するには、手順1で▲/▼で[選択]の代わりに[フォルダ内全て]を選んで●を押してください。